上級プログラミング1(第9回)

工学部 情報工学科 杉本 徹

今日のテーマ

- □ 入出力に関わるプログラミング
- □ 例外処理
- □ マルチスレッドプログラミング

入出力に関わるプログラミング

TXTファイルからデータを読み出そう

```
import java.io.*;
class Smpl0501 {
    public static void main(String[] args){
       BufferedReader bf=null; String strData="";
               FileInputStream fI = new FileInputStream("Sample.txt");
       try{
               InputStreamReader iS=new InputStreamReader(fI, "SJIS");
               bf=new BufferedReader(iS);
               while((strData=bf.readLine())!=null){
                       System.out.println(strData);
       }catch(IOException e){
               e.printStackTrace();
       }finally{
               try {
                       bf.close();
               } catch (IOException e) {
                       e.printStackTrace();
```

```
先週の復習(import文)
import java.io.*;
class Smpl0501 {
```

```
ファイル入出力用のクラスを
使うのでそのパッケージを
インポートしておく
```

```
public static void main(String[] args){
   ファイル入出処理の記述
```

参考: Java標準ライブラリの主要パッケージ

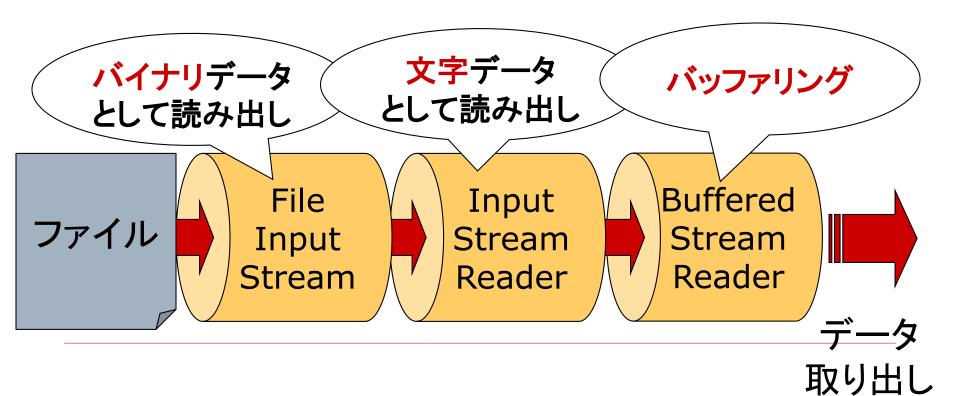
- □ java.lang(Javaの基本的なクラス群)
 - Objectクラス, Stringクラス, Systemクラスなど
 - java.langパッケージのクラスはimport無しで使える
- ロ java.io(入出力関連のクラス群)
 - BufferedReader, InputStream, File など
- □ java.util(様々な有用なクラス群)
 - ArrayList, HashMap, Date, Random など
- □ java.net(ネットワーク関連のクラス群)
 - Socket, URL, HttpURLConnection など
- □ java.awt(UI, グラフィックス関連のクラス群)
 - Component, Image, Graphics, Font など

テキストファイルの読み出し

```
String line="";
                 バイナリデータ
                 として読み出し
FileInputStream fi
                                    文字データ
        = new FileIr putStream("
                                  として読み出し
InputStreamReader is
        =new InputStreamPcader(fi, "SJIS");
BufferedReader br
        =new BufferedReader(is);
while((line=br.readLine())!=null) ₹
                                  バッファリング
        System.out.println(line);
```

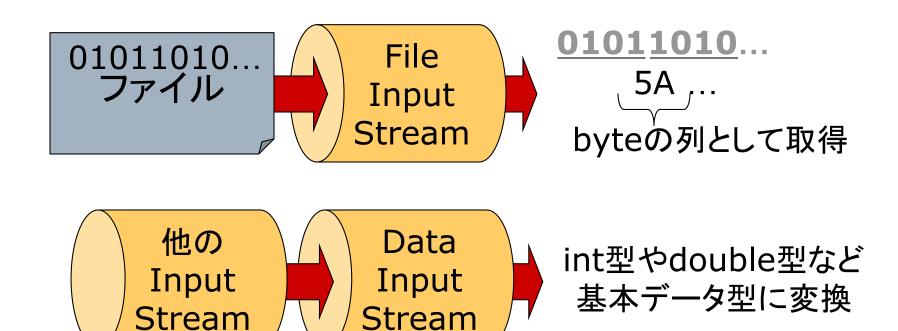
テキストファイルの読み込み関係のクラス

テキストファイルからデータを読み込むときには、 通常、三段構えで行う

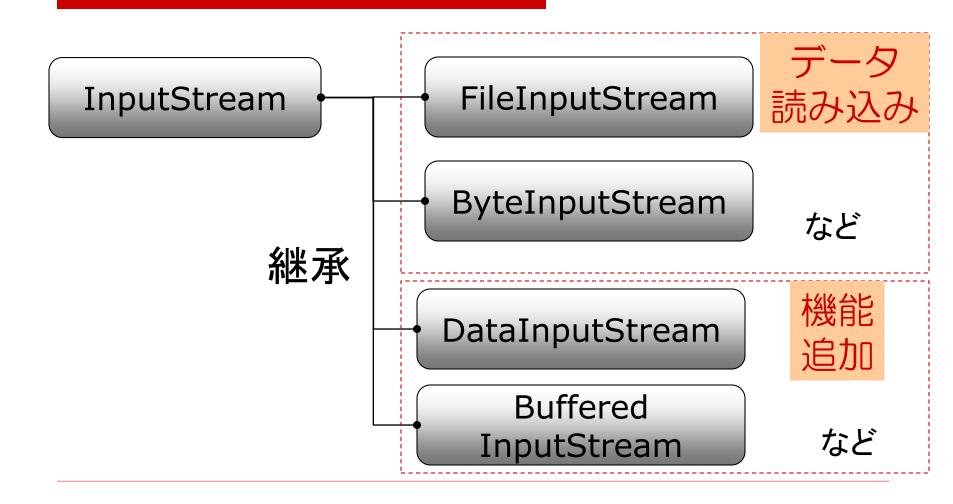


バイト入力ストリーム

byte単位でプログラムに渡すデータの流れ



バイト入力ストリーム



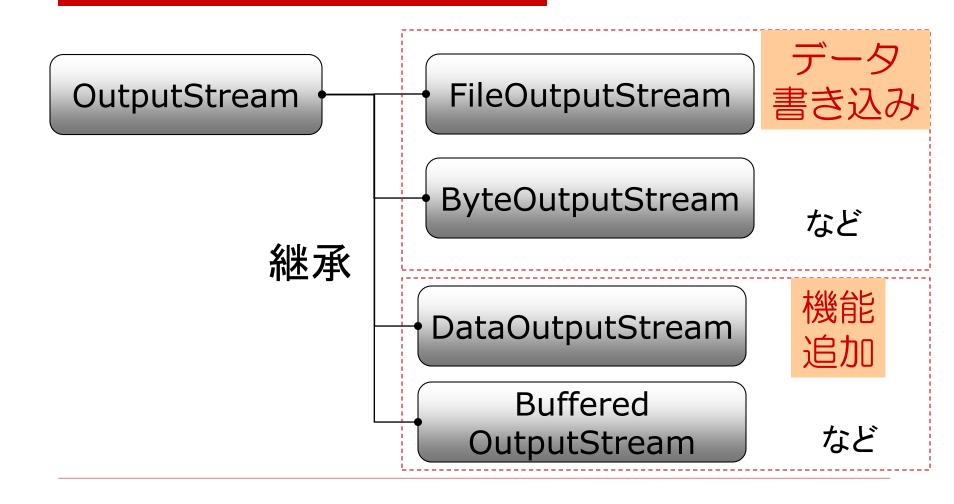
バイト出力ストリーム

byte単位で出力するデータの流れ



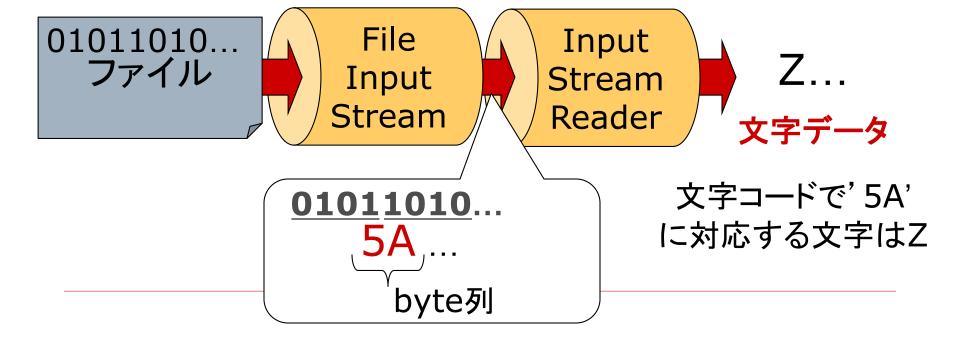
int型やdouble型など 基本データ型のデータ Output Stream Other

バイト出力ストリーム



文字ストリーム

文字単位でプログラムに渡すデータの流れ



Readerクラス データ 読み込み InputStream File Reader Reader Reader StringReader など 継承 LineNumber **Buffered** Reader Reader 機能 など

※クラス名はスペースの都合上改行している

Writerクラス データ 書き込み OutputStream File Writer Writer Writer StringWriter など 継承 BufferedWriter 機能 など

注意

ファイルを使ったら閉じるべし

BufferedReaderをcloseするとiSやfIも内部的にcloseされる

まとめ

- □ バイト列での入出力部分とそれを文字列として扱う部分を、プログラムに必要な機能に応じて組み合わせる
 - バイト列入出力部分: InputStream, OutputStreamとその子クラス
 - 文字列取り扱い部分:Reader, Writerの子クラス

補足1

□ 1文にまとめて書いてもよい BufferedReader br = new BufferedReader(new InputStreamReader(

new FileInputStream("Sample.txt"), "SJIS"));

ファイルの文字コード シフトJIS → "SJIS" **UTF-8** → "**UTF-8**"

□ FileReaderを使うとさらに短くなる BufferedReader br = new BufferedReader(new FileReader("Sample.txt"));

ただし文字コー ドの指定ができ ない(デフォルト の文字コードで 処理される)

補足2

□ ファイルに書き出す場合の例 PrintWriter pw = new PrintWriter(new BufferedWriter(new OutputStreamWriter (new FileOutputStream(ファイル名), "SJIS")); □ PrintWriterクラスを使うことでprintIn, printf などのメソッドが使える(例:pw.println(...);)

□ FileWriterを使うと少し短くなる

例外処理

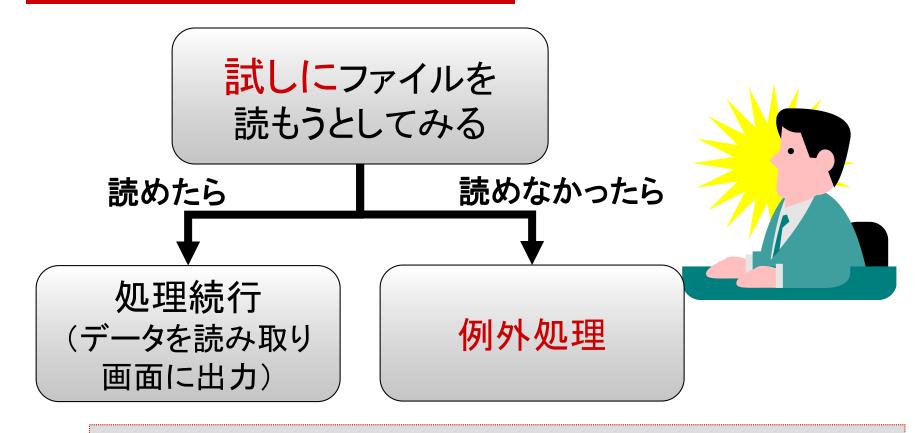
TXTファイルからデータを読み出そう(再掲)

```
import java.io.*;
class Smpl0501 {
    public static void main(String[] args){
       BufferedReader bf=null; String strData="";
               FileInputStream fI = new FileInputStream("Sample.txt");
       try{
               InputStreamReader iS=new InputStreamReader(fI, "SJIS");
               bf=new BufferedReader(iS);
               while((strData=bf.readLine())!=null){
                       System.out.println(strData);
       }catch(IOException e){
               e.printStackTrace();
       }finally{
               try {
                       bf.close();
               } catch (IOException e) {
                       e.printStackTrace();
```

•••こんなときどうしよう?

ファイルが ないよ! ファイルはあるけど 読み取れない! などなど

こんなことができたら便利



うまくいかなかったこと(ファイルが開けなかった等) を<mark>例外という</mark>

TXTファイルからデータを読み出そう(再掲)

```
public static void main(String[] args){
  String strData=""; | BufferedReader bf=null;
   try{
            FileInputStream fI
                  = new FileInputStream("Sample.txt");
            InputStreamReader iS
  試しに
                  =new InputStreamReader(fI,"SJIS");
            bf=new BufferedReader(iS);
            while((strData=bf.readLine())!=null){
                  System.out.println(strData);
  catch(IOException e){<
                                    もし例外が発生したな
      e.printStackTrace();
                                    ら、その例外を捕えて
                                     {}内の処理を行う
      ----(略)----
```

複数の例外に対して別の処理を行わせることも可能

```
try{
        ・・・・ファイル読み出し処理・・・・
catch(FileNotFoundException e){
  System.out.println("そんなファイルはありません。");
  e.printStackTrace();
catch(IOException e){
  System.out.println("入出力エラーが発生しました。");
  e.printStackTrace();
```

Finally文

□ どんな例外処理をしても、正常処理であっても 必ず実施する処理を記述する

```
try{
     bf=new BufferedReader(iS);
} catch(FileNotFoundException e){
  System.out.println("そんなファイルはない。");
} catch(IOException e){
  System.out.println("入出力エラーが発生しました。");
}finally{
          bf.close();
                            入力ストリーム
```

例外とエラーの違い

エラー

ハードウェア障害 OSのバグによるエラー

システムエラー

例外

ゼロで除算している 文法が間違っている ファイルがない 入出力がうまくいかない

など

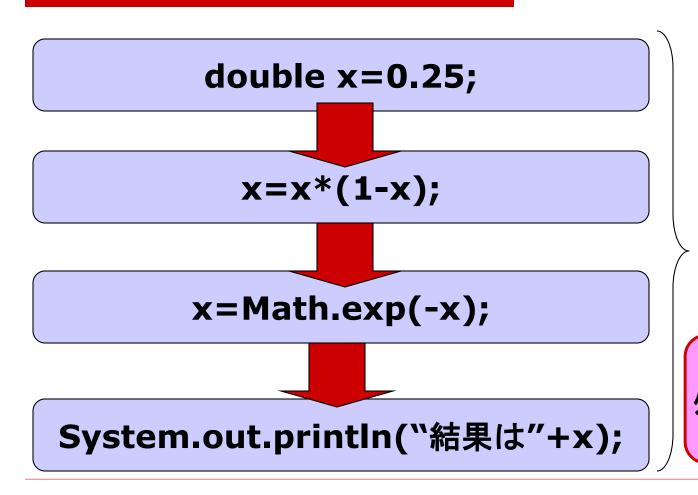
プログラムエラー

補足:よく起こる例外の種類

- NullPointerException
 - 未定義のオブジェクト(null)のフィールドを参照したりメソッドを呼び出したりした際に発生
 - 例: String str=null;
 System.out.println(str.length());
- ArrayIndexOutOfBoundsException
 - 配列の添え字の範囲を超えてアクセスした際発生
 - 例: int[] a = new int[3]; System.out.println(a[3]);

スレッド

普通のプログラム



一連の 処理が 順に 実行 される

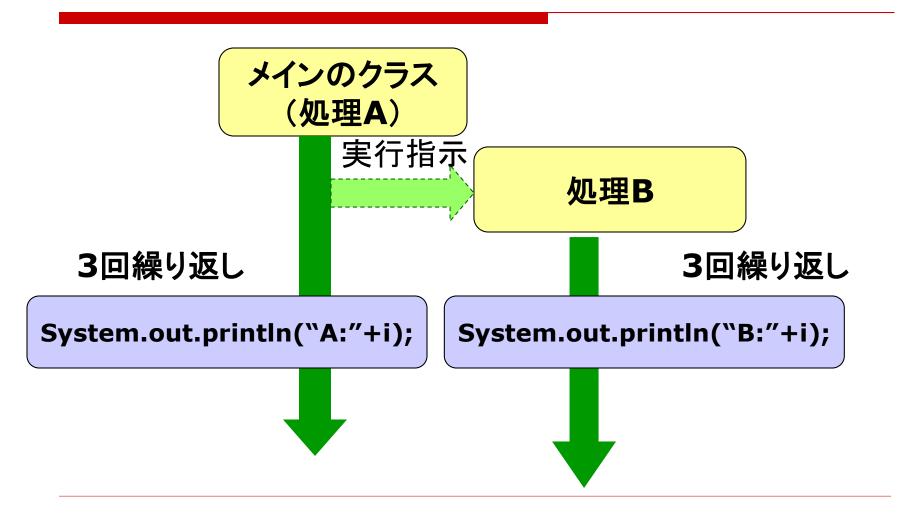
通常 処理の流れは **1**つ

マルチスレッド

- □ 1つのプログラム(正確にはプロセス)の中で、処理の流れ(スレッド)を同時に複数実行するしくみ
- □ 複数のスレッドが同時に複数実行されるプログラムをマルチスレッドプログラムと呼ぶ(普通のプログラムはシングルスレッドプログラム)



マルチスレッドプログラムの簡単な例



ソースプログラム(1) 処理B

```
class ThreadSmpl extends Thread {
     public void run(){
          for(int i=0; i<3; i++){
                System.out.println("B:"+i);
```

- Treadクラスを継承する
- run()メソッドをオーバーライドし、同時実行させる 処理を記述する。
 - run()メソッドはstart()メソッドから呼び出される

ソースプログラム(2) 処理A

```
class ThreadMain {
     public static void main(String[] args) {
       ThreadSmpl shoriB = new ThreadSmpl();
       shoriB.start();
       for(int i=0; i<3; i++){
               System.out.println("A:"+i);
       System.out.println("Done(main).");
```

処理Bを新規スレッドとしてstart()メソッドで実行後、A:・・・を表示startメソッド: 新たにスレッドを生成し、そのrunメソッドを呼び出す

結果

A:0 A:1 A:2 Done(main). B:0 B:1 B:2 処理Aと処理Bの実行順は 環境に依存するが、この結果では Bの処理の前に Aの処理が終わっている ことに注意

シングルスレッドでは、 処理Bの実行前に 処理Aが終わることはありえない

処理A(ThreadMain)のmainメソッドも
Threadクラス(ThreadSmpl)のオブジェクトのrunメソッドも
同等のスレッドとして扱われる

結果



BとCのスレッドは同時に 始まり、Bは1秒おき、 Cは1.5秒おきに 画面に表示する

それぞれのスレッドが独立に動いていることがわかる